

「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」

【 施策名：（１）工事コストの低減 【 】設計方法の見直し 】

堤防部に地震時の対策工を行い橋桁長を短縮

事業名：鉄道事業

概要：

(従来)

堤防外橋脚設置(長大桁構造)

(新)

堤防対策工+堤防部橋脚設置(短桁構造)

効果

鞘間構造の橋脚と堤防補強工を施工し堤防部に橋脚を設置することで橋桁長を短縮
橋桁重量の軽減により河川内橋脚がスリム化し河川の阻害率が軽減、洪水時の疎通性能が向上
橋りょう構造のスリム化により工事費を8.9億円から7.4億円に減額
(縮減額 1.5億円 縮減率 約17%)

